

祝
合格

平成19年度 大学入試結果

▶▶▶「未履修問題」について

学習指導部長 春田裕之



海
原

題字 河原孝好先生

発行
平成 19 年 7 月 20 日
第 28 号
海 城 学 園

海 原 会
〔海原会事務局〕
〒 169-0072
東京都新宿区大久保
3-6-1 海城学園
TEL 03-3209-5880
FAX 03-3209-6990
E-mail : unabara@kaijo.ed.jp
海原会 URL
http://www.unabarakai.jp/

今号の紙面

平成 19 年度 大学入試結果／会費納入のお願い……………①
総会記事／海原会受賞者／会長挨拶……………②
理事長挨拶／学校長挨拶／第 14 回吹奏楽団定期演奏会
計報／永年会費納入者／お知らせ……………③
同期会・クラス会等通信……………④
退職の先生挨拶（新田先生）／山下先生／HP について……………⑤
活躍しています／保健室の紹介／クラブ活動だより／編集後記……………⑥⑦⑧

国公立大学			
	総 数	現 役	卒業生
東京大学	51 (2)	32 (2)	19
京都大学	2		2
一橋大学	10	9	1
東京工業大学	19	11	8
北海道大学	3	1	2
旭川医科大学	1 (1)		1 (1)
東北大学	3 (2)		3 (2)
山形大学	1 (1)	1 (1)	
筑波大学	10 (2)	7 (1)	3 (1)
群馬大学	4 (4)	3 (3)	1 (1)
埼玉大学	7	4	3
千葉大学	11 (3)	7 (2)	4 (1)
電気通信大学	1	1	
東京医科歯科大学	2 (1)	1 (1)	1
東京学芸大学	2	2	
東京農工大学	6		6
横浜国立大学	4	3	1
新潟大学	2 (1)	1 (1)	1
金沢大学	1 (1)	1 (1)	
信州大学	2 (1)	1 (1)	1 (1)
滋賀医科大学	1 (1)		1 (1)
島根大学	1 (1)		1 (1)
愛媛大学	1 (1)		1 (1)
高知大学	2 (2)	1 (1)	1 (1)
熊本大学	1 (1)	1 (1)	
札幌医科大学	1 (1)		1 (1)
首都大学東京	5	3	2
横浜国立大学	4 (2)	2 (1)	2 (1)
大阪府立大学	1		1
防衛医科大学	9 (9)	5 (5)	4 (4)
気象大学	1		1
国公立大学総計	169 (38)	97 (21)	72 (17)

私立大学			
	総 数	現 役	卒業生
早稲田大学	162	87	75
慶應義塾大学	148 (3)	95 (1)	53 (2)
青山学院大学	9	7	2
愛知医科大学	1 (1)		1 (1)
麻布大学	1	1	
学習院大学	6	2	4
神奈川大学	1	1	
北里大学	7 (2)	4 (1)	3 (1)
岐阜薬科大学	1		1
共立薬科大学	1		1
杏林大学	1 (1)	1 (1)	
近畿大学	1 (1)		1 (1)
工學院大学	3	1	2
國學院大学	4	2	2
国際基督教大学	3	3	
駒澤大学	2		2
産業医科大学	2 (2)	1 (1)	1 (1)
芝浦工業大学	23	16	7
順天堂大学	2 (2)		2 (2)
上智大学	50	32	18
昭和大学	4 (4)		4 (4)
駿河台大学	1		1
成蹊大学	5	2	3
成城大学	3	1	2
専修大学	2	1	1
大東文化大学	1		1
多摩美大学	1		1

私立大学			
	総 数	現 役	卒業生
千葉工業大学	2	2	
中央大学	41	21	20
帝京大学	2 (1)		2 (1)
デジハリ大学	1		1
東海大学	3 (1)	1 (1)	2
東京医科大学	3 (3)		3 (3)
東京慈恵会医科大学	6 (6)	1 (1)	5 (5)
東京電機大学	7	3	4
東京農業大学	3	1	2
東京薬科大学	1		1
東京理科大学	118	60	58
同志社大学	2	1	1
東邦大学	5 (3)	1 (1)	4 (2)
東洋大学	5	1	4
獨協大学	1		1
日本大学	24 (4)	8 (2)	16 (2)
日本医科大学	5 (5)	1 (1)	4 (4)
日本歯科大学	1		1
日本社会事業大学	1	1	
日本獣医生命科学大学	1	1	
兵庫医科大学	1 (1)		1 (1)
文教大学	2	2	
法政大学	14	5	9
星薬科大学	2		2
武蔵工業大学	3	1	2
明治大学	42	21	21
明治学院大学	1		1
明治薬科大学	2		2
横浜薬科大学	1	1	
立教大学	30	9	21
立正大学	4	4	
立命館大学	3	1	2
麗澤大学	1	1	
私立大学総計	784 (40)	405 (10)	379 (30)

() は、医学部の合格者数
< > は、東大理 III の合格者数

皆勤者数と東大現役合格者数の比較

年度	11	12	13	14	15	16	17	18
皆勤者数	61	72	49	47	35	48	72	56
東大現役合格者数	45	47	30	34	23	38	44	32

史を必修科目とするのにはいささか疑問がある。日本史も世界史も必修とするべきではないだろうか。世界に出て活躍するに日本人としてのアイデンティティーを持つていて然るべきだ。カリキュラムが学校の顔であるならば、有為な人材を多く輩出する。鋭意努力していくつもりである。

さて、誰もが注目する進学実績であるが、国公立大学の医学部は合格者数がかなり減ってしまった。大学全入時代などといった、早慶はやはり難関校である。それなりの対策が必要である。東大も現役は数を減らしてしまった。私独自の分析方法である「皆勤者数と東大合格者数との関係」を改めて見て欲しい。この比較対照は学校の内外、多くの方々注目されたが、ほぼ実証できたものとして今回で終わりにしようと思っている。毎日学校に行きたくないような学

中学校にしても高等学校にしても、志望校を決定する時は、まず進学実績に注目するであろう。しかし、受験産業に携わる人たちは、その学校のカリキュラム（教育課程）にも注目するはずである。カリキュラムは一見地味ではあるが、実は学校の看板なのである。学校は教育姿勢を反映したものがカリキュラムであると言える。

そのカリキュラムに関して昨年大きな問題が生じた。所謂「未履修問題」である。何故今頃このような問題が表面化したのか、いささか疑問である。新課程が実施されてから既に 6 年が経過していた。新課程用のカリキュラムを申請した時点で問題となってもおかしくなかったわけである。チェック機関が加減であったせいもあるが、申請通りのカリキュラムを実施しなかった学校が数多くあったことも事実である。

本校は東京都に申請したところのカリキュラムを実施している。ところが、「教育法」の解釈の違いが今になって明らかになつたのである。そのため、「未履修問題」が取り上げられた時、本校はすぐに東京都に実態を説明した。その「教育法」の解釈の違いとはこういうことである。

学校教育法第 14 条
大学および高等専門学校以外の市町村の設置する学校については都道府県の教育委員会、大学及び高等専門学校以外の私立学校については都道府県知事は、当該学校が、設備、授業その他の事項について、法令の規定又は都道府県の教育委員会若しくは都道府県知事の定める規定に違反したときは、その変更を命ずることができる。

私立学校法第 5 条
私立学校には、学校教育法第 14 条の規定は、適用しない。

この二法はなんとなく矛盾する。本校の場合は、地歴を未履修とされているのではないかと考

る。学校教育法第 14 条
大学および高等専門学校以外の市町村の設置する学校については都道府県の教育委員会、大学及び高等専門学校以外の私立学校については都道府県知事は、当該学校が、設備、授業その他の事項について、法令の規定又は都道府県の教育委員会若しくは都道府県知事の定める規定に違反したときは、その変更を命ずることができる。

私立学校法第 5 条
私立学校には、学校教育法第 14 条の規定は、適用しない。

え、本校のカリキュラムを都に説明した。端的に言うならば、高校 1 年で行っている必修科目の「世界史 A」は、世界史に止まらず、日本史等の要素も取り入れた本校独自の授業構成になっているので、必修科目はこなし

る。学校教育法第 14 条
大学および高等専門学校以外の市町村の設置する学校については都道府県の教育委員会、大学及び高等専門学校以外の私立学校については都道府県知事は、当該学校が、設備、授業その他の事項について、法令の規定又は都道府県の教育委員会若しくは都道府県知事の定める規定に違反したときは、その変更を命ずることができる。

私立学校法第 5 条
私立学校には、学校教育法第 14 条の規定は、適用しない。

会費納入はお済みですか？

海原会の運営はすべてみなさんからの会費収入によってまかなわれています。そのためにも会費未納（永年会員を除く）の方は、ぜひ同封振込用紙により納入してくださいようお願いいたします。

年会費（毎年払込む） 3,000 円
永年会費 30,000 円以上

平成 18 年度活動報告及び平成 19 年度活動計画

平成18年度活動報告	平成19年度活動計画(案)
4月 8日 第1回合同委員会 8日 第1回常任幹事会	4月 1日 第1回合同委員会 7日 第1回常任幹事会 31日 会報編集会議
5月 1日 海城吹奏楽団定期演奏会後援 27日 会報編集会議 28日 広報委員会	5月 3日 海城吹奏楽団定期演奏会後援 18日 会報編集会議 28日 会報編集会議
6月 3日 海原会総会 18日 会報編集会議 17日 会報編集会議 17日 広報委員会 24日 会報編集会議	6月 3日 海原会総会 18日 会報編集会議 23日 会報編集会議 28日 会報編集会議
7月 3日 会報編集会議 19日 会報28号発行	7月28日 会報28号発行
8月18日 第2回合同委員会 18日 広報委員会	8月 第2回合同委員会
9月 3日 会報編集委員会 8日 広報委員会 28日 会報編集会議	9月 会報編集会議(3月後半より)
10月14日 会報編集会議 14日 広報委員会 21日 会報編集会議 28日 会報編集会議	10月 会報編集会議(毎土曜)
11月 4日 会報編集会議 13日 会報編集会議 18日 会報編集会議 18日 広報委員会 25日 会報編集会議	11月 会報編集会議(毎土曜)
12月18日 広報委員会 22日 会報27号発行	12月22日 会報発行
1月21日 広報委員会	
2月17日 海原会常務幹事会 17日 第3回合同委員会 17日 第3回常任幹事会	2月 第3回合同委員会 第3回常任幹事会 3月 会報編集会議
3月10日 会報編集会議 17日 広報委員会 18日 海城高等学校卒業式 (海原会賛助年)	18日 海城高等学校卒業式 (海原会賛助年) 来上記のほか、広報委員会を随時開催

平成 18 年度収支計算書及び平成 19 年度収支予算書

収 入 の 部	平成17年度 決算	平成18年度 決算	平成19年度 予算	備 考
会 費 金 額	3,816,080	3,620,080	3,322,232	93名
会 費 金 額	824,080	790,080	638,968	244名
入 会 金	3,778,080	3,395,080	3,393,308	16,068円÷385名
会 費 金 額	354,080	230,080	282,968	2,692×88名÷1,000×88
寄附金等上収金	0	0	0	0
その他収入	18,380	0	0	(贈与4,948円)÷4,990
合 計	38,080	0	42,968	16名
収入金(計)	3,857,784	3,620,080	3,365,200	

支 出 の 部	平成17年度 決算	平成18年度 決算	平成19年度 予算	備 考
会 費 金 額	25,816	300,000	86,712	出費金122名
会 費 金 額	1,816,880	1,820,000	1,822,468	1月と12月に、年2回発行 各回約17,000名
会 費 金 額	5,128,782	5,108,000	4,872,468	1月と12月に、年2回発行 各回約17,000名
会 費 金 額	848,144	472,000	370,468	81,468
会 費 金 額	67,140	78,000	81,468	81,468
会 費 金 額	148,080	108,000	120,000	120,000
会 費 金 額	208,080	208,000	280,000	世界銀行奨学金補助
会 費 金 額	0	58,000	20,114	27,958
会 費 金 額	33,480	78,000	32,968	27,958
会 費 金 額	0	0	28,268	27,958
会 費 金 額	34,878	38,000	15,468	1名に授与
会 費 金 額	0	0	0	0
会 費 金 額	0	0	0	0
会 費 金 額	427,421	408,000	472,382	472,382
会 費 金 額	158,080	108,000	180,215	180,215
会 費 金 額	0	0	677,985	7,148
会 費 金 額	0	0	0	0
会 費 金 額	0	0	0	0
会 費 金 額	0	0	0	0
会 費 金 額	0	0	0	0
会 費 金 額	0	0	0	0
合 計	8,219,792	8,218,080	8,588,568	

前年度繰越金	11,125,544	12,873,522	16,472,922
当年度収金	-682,811	-94,000	-687,917
当年度繰越金	10,442,733	12,779,522	15,785,005

本日は同窓の諸兄多数ご参会いただき、有難うございます。明治24年・1989年創立の母校海城学園の歴史は3世紀にわたって117年を算え、30年後の大正10年に発足した「海原会」は、今年87歳を迎えました。母校は順調そのものです。正面に新築の本校舎が、それを象徴するかのような壮観です。大学進学の実績は、今春も、天下第一流でした。生徒諸君の未来の夢と、人生プランとに合った大学へ、確率高く進学出来ることは、正に理想的です。「海城」への世間の評価は高まる一方で、卒業生にとって大きな喜びです。学校の適切なご指導に心から敬意を表します。同窓会のはうは、本部役員の改選期にあたります。会長の私と立石・石原・森山の三副会長は再任。また、会計幹事に宮下



▲海城吹奏楽団の伴奏で校歌斉唱

26)より平成18年度の活動報告及び決算報告(いずれも別掲)があり、続いて濱田謙一監査幹事(昭20)、水田勝博監査幹事(昭28)より「適正」であった旨の監査報告があり、審議の結果、いずれも拍手で承認された。議事2 平成19年度活動計画(案)と収支予算(案)(それぞれ別掲)について立石副会長より説明があり、審議の結果、拍手で承認された。その他については特に質問もなく、午後3時50分森山副会長の閉会の辞で終了した。午後4時5分、福島羊一先生の司会、佐藤靖久先生の指揮による海城吹奏楽団の演奏会が始まった。「校歌斉唱(1番から5番)」「シカゴの美人」「バイレーツ・オブ・カリビアン」と演奏が進み、「ブラジル」で終演となったが、一糸乱れぬ演奏の素晴らしさと一生懸命さに会場を埋めた出席者からの拍手は鳴り止まず、アンコール曲「士官候補生」で約30分の演奏を終了した。

親睦会は午後4時50分から食堂棟2階のカフェテリアで行われた。植木会長長の挨拶、清水秀雄さん(昭4)の音頭で乾杯の後、懇談に入った。新卒では早稲田大学に入った益子博貴君と緒方友博君が出席し、先輩諸氏に引つ張りだこで懇談の輪ができていた。私も両君と話したが、幸いというか、在学中は文芸部に所属して活躍されたという聞き、本紙のアドバイザーをお願いしたところ、考えましようと言ってくれた。心強いことに元毎日新聞社で活躍された滝本喬さん(昭36)とも話ができた。現在フリージャーナリストとして大変お忙しいご様子だが、会報へのご支援ご協力をお願いした。また最高齢の清水秀雄さんは、一週間後に船橋市で開催されるマージャン大会へ出場すると張り切っておられた。約3年前の取材時よりも元氣になられ、肌の色艶も良く、若返られた印象を受けた。来年度の総会にも出席したいと強く言っておられた。宴も進み、和やかムードの親睦会も午後6時、新卒の益子君と緒方君のリードで万歳三唱をして閉会した。

(小川晴望 記/山本満男 写真)



▲盛大に行われた親睦会

平成19年度総会は、6月2日(土)母校1号館3階の講堂で開催された。出席者は昨年を若干上回る142名であった。午後3時10分、森山昭洋副会長(昭41)の司会で開会、物故者への黙祷、植木昭夫会長(昭20)、古賀喜博理事長(昭33)と和征士学校長の挨拶(いずれも要旨別掲)の後、石原長夫副会長(昭33)を議長に選出し、議事に入った。

親睦会には午後4時50分から食堂棟2階のカフェテリアで行われた。植木会長長の挨拶、清水秀雄さん(昭4)の音頭で乾杯の後、懇談に入った。新卒では早稲田大学に入った益子博貴君と緒方友博君が出席し、先輩諸氏に引つ張りだこで懇談の輪ができていた。私も両君と話したが、幸いというか、在学中は文芸部に所属して活躍されたという聞き、本紙のアドバイザーをお願いしたところ、考えましようと言ってくれた。心強いことに元毎日新聞社で活躍された滝本喬さん(昭36)とも話ができた。現在フリージャーナリストとして大変お忙しいご様子だが、会報へのご支援ご協力をお願いした。また最高齢の清水秀雄さんは、一週間後に船橋市で開催されるマージャン大会へ出場すると張り切っておられた。約3年前の取材時よりも元氣になられ、肌の色艶も良く、若返られた印象を受けた。来年度の総会にも出席したいと強く言っておられた。宴も進み、和やかムードの親睦会も午後6時、新卒の益子君と緒方君のリードで万歳三唱をして閉会した。

見知らぬ会員が話しかけてきた。胸の名札は一年後輩だったが、共通の知人の名が結構出て来て楽しかった。

このところ、年々パーティーにぎわしが高まってきている。参加人員が増しただけでなく、出席者の多くが年一度の場を楽しくようになっているのだと思う。

海原会賞受賞者



竹井悠人さん

3月18日海城高校の卒業式において、植木海原会会長より竹井悠人さんに海原会賞が贈られました。〈受賞理由〉コンピュータプログラミングの分野で優れた能力を持ち、パソコン甲子園等の大会に出場。学生技術コンテスト Imagine Cup 2006 (世界大会がインドのデリーで開催された) ソフトウェアデザイン部門日本代表。〈Imagine Cup〉今年度は、世界100カ国以上の国々から参加した6万5000人より選ばれた42カ国、総計181人の学生たちによる戦い!! 〈海原会賞〉毎年、高校3年生の中から、下記のような活動をした人物を対象に贈る賞です。[2年以上在籍し、ボランティア・生徒会活動などユニークな活動に貢献し、学業、性向とも優れた人物]

会長挨拶

海原会会長

植木昭夫



信一郎氏、総務企画委員長に大澤英夫氏、広報委員長に山田雅康氏を、新任嘱託することとし、先頃、常任幹事会の了承を得ました。よろしく願ひ申し上げます。退任される小池洋三さんや池田健一さん、福島賢哉さん、長い間本当にご苦労さまでした。このところ、同窓会本部の活動にも、若い年齢層の方々の参加が増えてきました。同窓会活性化の原動力として、この傾向の進展をはかりたいと思います。

総会の活性化については、開催日を毎年6月第一土曜日に恒例化し、また各年度同期生が誘い合つての集団的参加などのことを今後も推進し、なお新しい工夫も致します。ご協力のお陰で、参加者数は一昨年から再び増加に転じました。

それから、一昨年春に、本格的に立ち上げた海原会のホームページは、年間万単位のご利用を頂いています。

今後とも、円満で、しかも筋の通った運営に努力致します。

同窓会は、同窓の方々のご協力と、母校のご支援なくしては何事も始まりません。どうか、なお一層のご指導とご協力を御願ひ申し上げます。

理事長挨拶

学校法人海城学園理事長

古賀喜博



平成19年度海原会定例総会の開催おめでとうございます。

海原会の一員として毎年6月第一土曜日に、会員の皆様方とお会いするのを楽しみにしておられます。また例年このように多くの方にご出席いただきますことは、母校のお預かりしております教職員の一人と致しまして、大変力強く感じているところでございます。

毎年変わらぬお力添えに感謝
申し上げます。

昨今、学校を取り巻く環境は、

學校長挨拶

海城中学・高等学校長

和田征士



PA（プロジェクト・アドベンチャー）手法を取り入れて、新しい人間力を生徒に身に付けさせて貰うよう、昨年から取り組み始めましたことは、昨年のこの総会で触れさせて頂きました。

中学1年では、日帰りです。中学2年では一泊二日を費やしてこの訓練に取り組んでおります。高1等のHRでもこの手法の応用で人間関係の作り方に習熟するよう工夫し、生徒から好感を持って受け容れられています。

恒例のようにりましたが、中学1年生の担任団は、森新学年

昨年は、未履修問題で、海城の名が新聞等に出てご心配をおかけした向きがあると存じます、コンプライアンスを重視する立場で、敢えて発表に踏み切ったところであります。

そのことに刺激を受けてではありませんが、現在、以前からの予定に従って、新しいカリキュラムの検討に入っていると

が一つの新しい流れになってきていることを採用することになります。

一部週刊誌で東大の合格数が、詳しく報じられておりますが、東大初め大学進学状況は順調に推移しており、入学状況も順調です。しかし一層の努力を重ねていく所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

協力関係を実現していることによつて、力強い教育活動を行つております。

厳しいものがあります。少子高齢化にともなう子供の数の減少という面がよく話題となりますが、むしろ一部の家庭や子供達の考え方や行動に根拠からの変化とも言えるようなものがあります。これは変質してしまっただ今の社会や家庭状況を写す鏡のような状況であろうと思われれます。良い方への変化でなく、むしろ将来に向かって悪化してゆく前兆のような不気味ささえ感じます。しかもこのような現象は日本だけでなく世界中の多くの国々で、解決されねばならぬ最大に課題のひとつとなつて

言い換えれば海原会の皆様方のご協力ご理解の賜であります。先月来、財界トップの方と懇談の機会を持っておりますが、その中で、これからの学校特に私立学校にとって大切なのは卒業生であり、同窓会が活性化し、学校との協力関係を築けた学校は発展してゆき、出来なかつた学校は難いだろうとの指摘があり、私も意見を同じくいたしました。人材の宝庫である同窓会の活動には、非常に大きな意義があるのに、多くの学校がその活力を生かし切れていないということです。

この解決に向けて期待されるのは、教育の力でしょう。今こそまっとうな学校が必要な時代であるとも言えると思います。

母校海城学園は、卒業生、在校生、保護者、学校が、三位一体ならぬ四位一体の信頼関係と

を通じて、母校発展へ向かう車の両輪となると確信しております。今後、海原会との協力関係を、より強力なものとしてゆく所存ですので、力強いご援助ご鞭撻をお願い申し上げます。

海城吹奏楽団

第14回定期演奏会開催



「なかのZERO大ホール」にて、
去る5月3日、憲法記念日に
海城吹奏楽団の第14回定期演奏
会が開催されました。

大型連休の只中にもかかわらず、多くのお客様にご来場いただきました。今年は例年よりも多く、800人を超える方に足を運んでいただきOB一同喜んでいました。また、現役の団員たちもそれを励みに次回定期演奏会へ向けてさらによいものを作り上げるべく努力をしていくてくれることでしょう。

海城吹奏楽団にとって年に一度の定期演奏会は大きな節目です。高校三年生はこの演奏会後に引退をします。定期演奏会を終了は団にとっては新たな一年の開始となるのです。そのような節目であると同時に、何ヶ月も前から練習をはじめ、3月には合宿も行つて築き上げてきた成果を発揮する場とあつて、団

私自身現役の頃はそんなことを考える余裕はなかったのです。が、裏方で手伝うようになって、緊張感を伴った独特の雰囲気です。

肌で感じるようになりました。
この雰囲気とそして楽しそうに
演奏する団員を見ることが演奏
会に足を運ぶメリットではない

でしようか。たゞよい演奏を聴くだけならば市販されているCDを買えば十分です。しかしCDでは感じ取れない雰囲気を感じ、楽しそうに演奏している奏者を見ることが演奏会ではできません。

毎年よりよくなつていく演奏に加えて今年は例年よりも凝つた照明、指揮者でいらつしやる

佐藤先生の演出へのご協力に、よって楽しいステージになり、来て良かったと思っただけだけではなく、演奏会になったのではないかと思えます。OBという身内な視点ではありますが、団員たちは今後またよりよい演奏会を作っていくものと信じております。是非その演奏会を見ておきます。

を運んでいただければと思います。なお次回の第15回定期演奏会は平成20年5月6日に「なかのZERO大ホール」にて行われます。

（近藤雄大 平16卒 記）

お知らせ

第1回ポプラ社小説大賞を

〈平成 11 年卒〉 **方波見 大志**（かたばみ だいし）氏

が受賞しました！

—おめでとうございます—



『3分26秒の削除ボーイズ』

大賞賞金
2000万円

永年会費納入者（敬称略）

永年会費を納入されている方（封筒の宛名の下に「永」と表示されている）にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、票からずご了承下さい。

追加納入
吉岡 長利

同期会・
クラス会通信①昭和23・24年卒
海原二三四会

▼喜寿を迎えて

◎平成19年5月19日(土)

◎於・外国人特派員協会

◎出席者・26名

私達の学年は、毎年5月の第三土曜に「海原二三四会懇親会」を開いて来ました。今年も5月19日、有楽町にある外国人特派員協会で、26名の仲間が集い、再会を楽しみました。私達の会合は40年以上も毎年続けて来ま



した。今年度中にみんな喜寿になります。若干の老いも見受けられましたが、元気な仲間が大半です。現在も現役で活躍して

昭和19年卒
同期会

▼傘寿を迎えて

◎平成18年10月26日(木)

◎於・銀座三笠会館

◎出席者・15名

今回も案内状発状に当り一同寿了歳浪と共に出席者の数も年々減少の一途を辿る状況に鑑み、丁度今年は今吾々世代が80代の大会にのり、全員傘寿を迎える事となったのを機に祝傘寿の会と銘打って開く旨特筆附記しそれに由って今まで余り参加に意欲を見せなかった面々の中にも「それならば」と重い腰を上げてくれる向きもあらうかと幹事一同胸算用もしてみたのですが結果はやはり15名の出席に止り寂しい感じを禁じ得なかったのは吾人だけでは無さそうであった。しかしながら卒業以来60年。激動の時代を乗り越えて来た吾等の人世を想う時これも歳月と自ら得心せざるを得ない

いる者も数人居ります。

この会の原動力は海城学園理事で、東京弁理士会の副会長を務めたこともある阿形明氏の新橋にある特許事務所の一室で毎月第三土曜(以前は金曜)に、仲間が集う「三土会」を続けて来たからです。その集いは、話し合いながら呑む事もあります。が、囲碁や麻雀をする者もいます。この集いに私達の担任をなさった堀正一先生や後に日本芸術大賞を受賞された利根山光人先生が来られた事も有りました。

21世紀になってからの懇親会出席者数は概ね25〜28名程度であり、いつかは減少するかも知れませんが、ここ数年は定数を保っています。その一番の要因は、少子化時代で私学運営が厳しい中、母校が立派に存続しているからだと言われます。

海城あつての海原会
海城学園の繁栄を祈ります。
(大貫金吾 記)

昭和34年卒
海原三四会ゴルフ会

▼徳光和夫君の参加で盛り上がる

◎平成19年3月30日(金)

◎於・千葉

姉ヶ崎カントリー倶楽部

◎出席者・7名

昭和34年卒同期会は、平成15年6月「ホテル海洋」にて第1回を開催してから、今年で3回となりました。ゴルフ会のきっかけは、サントリープロアマにでていた徳光和夫君が安藤浩君と出会ってからです。

去年から企画していたものが安藤君のメンバーコース姉ヶ崎C・Cでやっと実現し7名の参加となりました。

写真は前列右から山崎典夫(A組) 徳光和夫(B組) 小野光昭(E組) 安藤浩(A組) 鈴木雅彦(C組) 栗原敏朗(C組) 宇野耕平(D組)。

徳光和夫君は、当日の早朝新橋汐サイトのホテルからかけつ

次第です。懇親会に入り幹事の挨拶乾盃に続き各自近況の披露等を話題はつきる事無く今回をもって最終回とするにはもったいない様な気分にもなったが諸般の事情からこれも亦已むを得ない事と思わざるを得ないだろうが宴を閉じる当り山下哲寿君のフルート伴奏に依り全員で校歌を斉唱。互いに健康を祈りつつ散会となった。

又、前回より今日までの年間

沢登 豊 平成18年1月2日
今井英一 平成18年7月13日
市瀬 威 平成18年8月31日

以上3君が不帰の客となられました。心よりご冥福をお祈り致します。合掌
(小田定朗 記)

昭和34年卒
海原三四会

▼青森からもかけつけた

◎平成19年3月11日(日)

◎於・神楽坂「エミール」

◎出席者・40名

昭和34年卒業生が、卒業45年目に「海原三四会」と称して同期会を開催して、今回が第3回



目となる。

今年は、参加者39名で賑やかに開催された。恩師の大貫金吾

は願っている。

(佐藤秀夫 記)

とてくれた。徳さんの人柄にキャディさんは大喜びで一日楽しくプレーができました。フリーアナウンサーになって20年。レギュラー番組、単発番組とイベントの司会にあげられる中、好きなゴルフとはいえ快く参加してくれて我々6名は感激しました。その夜も東京プリンスホテルで6時から、ある歌手の記念イベントがあるとか、プレー後のパーティもそこそこ東京へと向かわれた。安藤君が写真を送った

(鈴木雅彦 記)

昭和27年卒
海原二七会

▼ゆとりの顔、至福のとき

◎平成18年11月17日(金)

◎於・新宿ワシントンホテル

◎出席者・30名

・気配りの冊子

残念だが3人ほど我々の前から逝ってしまった。その分ご無沙汰した仲間が参加したことから30人が勢揃いしたのは嬉しい。

いつもの事ながら「欠席者近況」なる冊子が配られた。

「あいつどうしているのかな」

遠方の人、現役の人、旅行中、ボランティア活動中、田舎暮らし、

がスピーチ

・お前には世話になったな

の話

・ボランティアをしている

話

・薬を飲むなら酒を飲めと

か

・ウエスタンソングで氣勢を上

げ

・逝くところはみんな同じ

だ

・90歳になったら会おうぜ

とか、

野次が入り大笑い。

前を向いている。健康の

話はそっちのけでお構いな

し。話題は尽きなかった。

次回も皆元気で居るに違

ない。

(山本満男 記)

同期会・ クラス会通信②

湘南海原会

▼湘南地区在住 海原会会員の楽しい集い

◎平成18年11月25日(土)

◎於・茅ヶ崎駅前相撲茶屋 中味川

◎出席者・12名

第21回湘南海原会は河合卓爾会長(昭和18年卒)以下11名特別参加の立石氏(昭和26年卒)を加え12名の会員が参集しました。会長挨拶からはじまり近況、健康状態等の相互情報交換のあと、河合会長の海兵時代の思い出話し等で盛り上がり、有志の隠芸の披露もあり盛況のうちに二時間がすぎました。来年五月の



平成7年卒 クラス会

▼石塚先生、ご結婚おめでとうございます

◎平成17年12月29日(木)

◎平成18年12月29日(金)

◎於・池袋村さ来

2005年12月29日15時。石塚クラス同窓生のメーリングリストに、一通のメールが流れた。

「実はこの度入籍しました。石塚」

同日18時。池袋村さ来に続々と集まる同窓生たち。

先生は欠席。

当初忘年会として予定されていた宴会は、突然のメールにより先生の新居アポなし突入作戦会議となる。

しかし、誰も先生の引越先を知らない。

同日19時。村さ来にN井が登場。状況を知ったN井の一言。

「おれ、母ちゃんに先生の引越し先教えてもらった!」奇跡的にそのときのメモが鞆に入っていたN井。

神と化したN井には、怒涛のコールが押し寄せる。

同日20時。一次会終了。一次会を終えた同窓生たちは、皆叫ぶ。

「氷川台! 氷川台!」興奮のあまり、サラリーマンたちの冷たい視線は全く気にならない同窓生たち。

同日20時30分。「氷川台!」と叫びながら狂喜乱舞する同窓生たちがメッカ(氷川台)に到着。しかしここで、問題が発覚。

そんな中、他クラスの同窓生(氷川台在住)が現れる。住所・

同日21時。新居に到着。特攻隊長S上がインターホンへと向かう。

もちろん、残りのメンバーはその場から走り去る。

「ピンポン」インターホンからは女性の声が聞こえる。

「もしもし?」どなたですか?...

「もしもし?」ねえ、あなた、外に変な人がいる...

S上の特攻を見守る残りのメンバー。切れるインターホン。

ヤバイ雰囲気。

自分が1人になっていることに気づき慌て逃げるS上。

「キーッ」101号室の扉が開く。しかし、その前には誰もいない。

「おい!...いるんだろ??...わかってるんだよ...なあ、...いないのか?...おい!...」静けさに響き渡る、元担任の声。

その声には何故か幸せが感じられる。

皆、何故か笑いがこみ上げてくる。飛び出る一同。

「おめでとうございます、先生!」



鉄道研究会OB会

▼初の昭和・平成合同新年会

◎平成19年1月13日(土)

◎於・新宿居酒屋「いさみ」

約20年の世代を超えた初の交流会は、40歳代の昭和卒の半数以上が出席し、平成卒の若手と「鉄道」という共通の話題で語り

合い、顧問の小林先生の出席もあって大いに盛り上がった。両

世代とも、伝統ある海城卒という共通意識のもと、今後とも交

流を深めていきたと思っている。

(昭和57年卒 伊藤洋 記)

小林組 クラス会 だより

■昭和62年卒 3組

◎平成19年3月4日(日)

◎出席者・9名

毎年恒例のクラス会。参加者も固定化しつつあるが、今回は長期の中国勤務から戻った谷口君他、久々の参加者も数名おり大いに盛り上がった。さて、昨年の小欄にも書いたが今年は卒業20周年! クラスを越えて「昭和62年卒同期会」を実施したい

と思っている。他クラスの幹事役の方々も、是非御協力を願います。

■平成5年卒 9組

◎平成19年3月3日(土)

◎出席者・5名

恒例の同期会であるが、昨年一昨年に比べ常連組の都合が悪く、やや寂しい会となっていました。参加者が少なかつたが、加者以外の者も含めた近況については色々な話が出て、ステッアップのため転職した。仕事をやめて大学に戻った。海外で研究生活をしている等々。皆、頑張っているようである。

■平成8年卒 3組

◎平成19年2月25日(日)

◎出席者・16名

◎出席者・7名
我がクラス的面々も30代目前であるが、仕事も忙しくまた地方や海外勤務の者も多くなり、ここ数年参加者が少ないのが残念である。今年からロシア勤務になった者もいれば、大学で研究を続けている者もいる。また、昨年のサッカーワールドカップをドイツまで行ってしっかり観戦(一試合だけでなく)した者がいたのには驚いた。多忙かと思うが最近御無沙汰の人は、来年は是非参加して下さい。

■平成13年卒 9組

◎平成19年3月17日(土)

◎出席者・9名

年1回のクラス会、卒業して6年経つが理科系で大学院へ行く者が多い中、現役合格・留年無しでの院進学組がやっと今年就職である。当然浪人・留年も多いのでまだ暫く学生の方が多いうのだが、徐々にクラス名簿の勤務先欄が埋まってくるの

だろう。一方、既に就職した者の中には早々と結婚した者もある! 同じクラスでも人生色々であることを実感したが、来年も宜しく。

部4年生ですが、参加者には苦勞して今春やっと大学生になった者もいます。大学での学年はともかく、海城の小林組の仲間



同期会・
クラス会通信③昭和28年卒
海原二八会

▼二八会の会話から

◎平成19年6月9日(土)
◎於・新宿軍屋本店
◎出席者・45名(内女性5名)
二八会1 彼とは海城在学中に三光町の周辺のスケッチをし

昭和33年卒
海原三三三会

▼皆、来年も元気で

◎平成18年11月11日(土)
◎於・新宿パレットビル「わらびや」
◎出席者・21名
晩秋の趣き漂う新宿、恒例の

たことがあり、絵は共通の話題だ。二人とも仕事から離れたのを機にヨーロッパへスケッチ旅行に行き原宿でミニ二人展を開いた。小松・親松の両君が見に来て二八会の誘いを受け、久方振りの出席のきっかけを作ってくれた。

二八会2 65才を過ぎてから標高5000メートルの山へ出かけるようになった。彼はハイキングクラブのリーダーをやっていたので、ネパールのシヤクナゲと8000メートル峰を見に誘った。その後彼は心臓の大手術を受け、あの山旅は良い思い出だと喜んでくれたのが嬉しかった。



三三三会、お鍋を囲むこととした。居酒屋旧名称「西口会館」とか小便横丁と言った方が分かり易いかも知れない。いつもの面々に久し振りの人、春の紫綬褒章受章の青葉益輝君、病を克服した溝淵脩雄君など、賑やかに時間の経つのも一向に気にかげず楽しいひとときを過ごした。

一次会が終わってみても宵の口、飲み足りない人、歌いたい人、思い出多い若者の街へ繰り出したようだ。また、ゴルフ談義に花咲く人は手帳にシツカリ酔っているのを忘れないよう) 約束日を書いていた。

皆、来年も元気な笑顔で会えることを約束して散会した。(前田昌則 記)

昭和47年海城中学入学
同期会

▼初参加! 金城君・米山君

◎平成18年11月11日(土)
◎於・御徒町居酒屋「土風炉」
◎出席者・10名
この会は、平成13年9月に小室寿典君の13回忌に墓参したのを機に発足し、関尚明先生をお迎えして今回で6回目の開催へとつながった。



な、おおいに聞き入っていた。米山君においては専門学校の講師を経て、海外でのフランチャイズ店の事業展開など、我々一般会社員には経験できない経営戦略の苦労話を聞くことができ、例年になく盛り上がることであった。

昭和32年卒
同期会

▼卒業後50年記念同期会

◎平成19年1月22日(月)
◎於・新宿京王プラザホテル
◎出席者・23名
新春早々1月22日、昭和32年海城高校卒業の同期会を東京・新宿の京王プラザホテルで行いました。

例年の同期会は、同窓生が経営するレストランで行っていましたが、50年という半世紀を記念して京王プラザホテルを会場とし、23名の初老の紳士が集結しました。

当日は、在学生時に数学の教諭で山岳部顧問でもあった大貫金吾先生(写真矢印)も特別参加され、高校時代の思い出に花が咲きました。

50年ぶりに会った同期生も多く、お互いに記憶をたどりながら楽しい一時を過ごし、これからのお互いの健康と友情を再確認した一夜でした。(清水洋水 記)

平成15年卒
クラス会

▼初めての同窓会

◎平成18年2月28日(水)
◎於・新宿東口居酒屋匠
◎出席者・17名
卒業後初めての同窓会を開催しました。

また開催地の御徒町地元の小高君もやっと終了間際に滑り込みで間に合い、最後の乾杯で再度の盛り上がりとなったことはとても喜ばしい。

(出席者写真右から・小高、立柳、飯田、関先生、添田、狐塚、中沢、米山、金城、岩城)
来年も同時期に開催を予定しております。昭和47年中学入学の方は下記へ連絡いただければ

昭和39年卒
海原三九会

▼39年卒同期会

「三九会」(Thank you) 命名

今年の1月13日に同期の5名が卒業後40年ぶりに再会して新年会を開き、懐かしく海城高校在籍時代の事を語り合う同期会を開催することになり、海原会のホームページに同期会開催について掲載いたしました。

そして先日開催されました6月2日の海原会総会に出席。総会の終了後に新大久保の駅前で同期会を開催し、その席上で同期会の名前を「三九会」と決定いたしました。

卒業してから44年、全員が60歳を過ぎて再会して語り合う事の出来る有難さや懐かしい思いがふつふつと沸いてきました。

そんなところから「Thank you」という感謝の心と39年卒同期が集まる会ということで命名しました。



集まると必ず出るのが担任の先生の話や運動会での苦しかったマラソンの話、懐かしい修学旅行の北海道や十和田湖での話でした。

その後の親友やクラスの友達との消息で大変盛り上がりました。ですが、各自が卒業後の知られざる長い人生経験の話は大変重みのあるすばらしい話が沢山ありました。それで文集が出来たならば大変貴重なものとなると思います。

次の同期会ではもつとすばらしい事が開けると思うとわくわくする思いです。

高校までが青春時代、その後が第二の人生として就職、結婚、そして家族のためにと、一生懸命頑張ってきました。

60歳を超えたこれからの私達の人生は第三の人生へのスタートとして、すばらしい仲間再び会えたことに感謝いたしております。

39年卒の「三九会」の皆さんが1人でも多く集まって、お互いのすばらしい第三の人生に参加しようではありませんか。(川瀬幸一 記)



間、幹事が動かなかったせいで開催されていませんでしたが、今回はその重い腰を上げて無事開催となりました。

きっかけは、06年10月の内定式後の飲み会会場で他社内定の同窓生にあったことでした。彼は勤務地が遠方になる可能性が高く、今やらないとしばらく参加できないという事で、そういった話に尻をたたかれるような気持ちになりました。

連絡先の再調達や日程の調整に時間がかかった関係もあり、参加人数はクラスの半分以下ではありましたが、当日は担任だった小野木先生にも参加していただいたのと、もともと仲の良いクラスだったこともあり、非常に

幸いです。

(岩城次夫 記)

tivaki@cabletune.jp
tivaki935@docomone.jp
090 (2209) 9011

〈お詫び〉

本紙編集に際し、ご投稿頂いた原稿を整理したところ2件紛失していたことが判明いたしました。昭和19年卒の小田定朗さんからご投稿頂いた「同級会」と昭和29年卒の佐藤都志雄さんから頂いた「湘南海原会」です。貴重な原稿・写真を、私どもの不始末で紛失したことは全く弁解の余地はありません。両氏並びに関係する方達に心よりお詫び申し上げます。再度のご投稿をお願いしましたところ、本欄掲載の通りご協力を頂きました。ありがとうございます。

二度とこのようなことが起こらないよう、編集委員並びに学園幹事一同、心して編集、発行業務に努めていきますので、従来通りのご支援、ご協力をお願いいたします。(編集委員長 小川 晴望)



退職の挨拶

国語科教諭 新田弘次



私が海城学園に御世話になったのは、昭和39年からである。これまでの65年の人生の、実に3分の2にあたる43年の歳月をこの学園とともに生きてきたことになる。感慨が無量なものとして湧いてくる。それはただ職業としての意味だけではなく、私の人生を形成してくれたところでもあるという感慨である。深く感謝している。私に関わった多くの卒業生諸氏の社会でのご活躍を思うとき、その一端を担い得たかもしれないという思いだけが、私の余生の密かな自負となりそうな予感がある。

しかし、私はこの海城学園でなにをやったのか、何をやらなかったのか。そのことを振り返ってみると、今いうその自負心は見事に消し飛んでしまう。あれもこれも、ああすればよかった、こうすれば良かったと、過ぎ去った日々を悔やむのであ

る。思い通りにやってきたとばかり思っていた自分に、こうした思いが沈着していることを驚く。この感覚は遙か以前、私が若かりし頃にも抱いた感情に似ている。退職後、これまでの資料の整理をしていて発見した、昭和43年の「海原会報」に書かせてもらった時の気持ちにそっくりだ。この思いが未だに自分を動かしていることは驚かされる。その文章の冒頭の一部を引用することをお許しいただきたい。

私は毎年夏に車を駆って、芭蕉を中心として、古典の故地を訪ね歩くのは、もう4年のこととなった。この直接の動機となったのは、その4年前の春に芭蕉の俳句を初めてやり、大学での不勉強も崇めて、不満足な講義に終ってしまった事である。教壇に立って俳句を口にする時、妙な

に白々しい気分になって仕方がない。放課後遅くまで机にかじり付いて、芭蕉の何たるかを、俳句の何たるかを考え調べてみても、心に密着するものがない。大体、俳句の「心」が解らないのだ。私は焦った。明日、また生徒たちは教室で、俳句のオーソリティからでも聞くような眼付きで私を見詰めるのだ。若い教員に対する生徒の評価ははっきりしている。学識は不足でも、奴は若さで勝負する。まあいいではないか。……である。中に頭抜けて優秀な生徒がいるものだが、その私を見る眼は実に忌むらしい。「お前は解つてもいないものを、それらしく講義する。恥ずかしい。」とでも言いたげな顔で、ニヒルな態度に始終する。教員になりたての私にはそう見え、そう感じられてしまうがなかった。この顔が、態度が恐ろしくすうらあつた。

というのも、彼らの指摘は私に關してまさに当たっていたからだ。教室で、書物から得た他人の業績を浅薄な突込みのまま、その記憶をなぞりながら、自分の独断をつけ加えていなければならぬという、そんな

な立場に何度も立つ。教員はそれでいいのかも知れないと思ひ直したりしてみたが、それは何の役にも立たない。教壇に立つとまたその恐怖・不安が脳裡を去来する。その都度、私の胸にいつも激しくうずくのは、実証的に裏付けられた学説を喋りた、何か、自分の実感としてつかめるものを講義したいという思いであつた。

そうこう悩んでいるうちに、いつしか私は、芭蕉の紀行文の一行を見詰め、一句を呟きながら考え始めていた。芭蕉は一体その書いた記事にどんな想いを付加して、我々に語ろうとしているのか、その句でどんな「心のゆらめき」を詠もうとしているのかは、唯、読んでいても駄目だし、他のどんな学説の存在を知っていてもあまり意味を持たない。その場面に直接自分を置いて考え、味わうことによつてのみ解るのではないか。気障なようだが、西行を慕った芭蕉が旅立ったように、芭蕉の歩んだその地のぬくもりを慕ってそこに立ちたい、俳句の素材となった風土を歩き「実感」を持ちたいと思うようになったのである。

定例祝賀会、ありがとう！

英語科教諭 山下秀夫

20年ぶりに、クラスの皆、集まってくれたね。35歳の壮年になってな！ 皆の近況報告交換は、よかった。皆、厳しい社会で頑張っているね。旧友交歓で5時間があったというまに過ぎたね。皆との集合写真は、孫たちの写真と同様、いつもポケットに入れてある。20年後（以内）の再会を切望しつつ、生きて生きたい。私も、妻があと2年で

定年、長女、次女の幸せな結婚、孫娘、孫息子の成長、私自身は何か書いたり、図書館で読書したり、海外旅行をしたいということなどを語った。その夜、帰宅後、激しくうれし涙が込み上

げて来た。次はわれらが野球部の同志たちと、その友たちの、燃えきった祝賀会には、やはり、心の中でありがたくて泣き続けた。全員が書いてくれた色紙には、誰もが「定年退職、お疲れさま、おめでとう」という思いをこめてくれた。このように、人生は、新たに、幸せに、展開していくのだったのか。

定年も楽しいのだから、生きて行くことは、むしろ辛いことがあるうとも、楽しいことなのだ切実に感じた。全員の名刺をもらい、やはり、海城生たちは、「すげえなあ。」と思った。



* 山下秀夫先生は、7月3日の早朝、ご逝去されました。ご冥福をお祈りします。（海原会）

海原会

検索

クリックする

ホームページからのお知らせ

ホームページは少しずつ、見やすく、その都度リフォームをしています。同窓会のこと、友人のことなど情報を待っています。交流の場にご活用ください。（広報委員会）

<http://www.unabarakai.jp/>

活躍しています

赤羽法律事務所
弁護士

赤羽富士男

(あかばねふじお) さん
(昭和56年卒)

昭和56(1981)年に本校を卒業した赤羽富士男さんは、現在、弁護士として第一線で活躍されています。弁護士といえは、長い年月を費やして司法試験に合格し、その後、一般には縁遠い裁判などで腕を揮う法律のスペシャリストというイメージを持っていました。赤羽さんは、いい意味でその期待を裏切ってください、実に「ユニークな」方でした。

(取材 鈴木武道／取材協力・写真 小川晴望)

●医科大から東大へ

高校を卒業した赤羽さんは、医科大学で一年過ごされた後、東大工学部(理Ⅱ)に進学されたという経歴を持つ。学生時代はさぞかし勉強ができたかと思えば「中間・期末の試験は結構、サボっていた」とのこと。医学部進学も「医者になることを祖母が願っていた」のが理由で、退学したのも「(その)祖母が亡くなってしまったから」だという。

●極真空手で自己鍛錬

語り口からするに飄々とした高校時代を送っていたと思われる赤羽さん。それでも、ずっと続けていたというのは「極真空手」だ。池袋の道場に通う毎日を過ごされていた。精神鍛錬を



弁護士になられても、これまで培ってこられたその一つひとつが、十分活かされている。例えば、理系時代に会得した統計の分析力を駆使し、M&Aなどの企業に関わる領域を弁護士としての得意分野にされている。時代をみるに、日本も米国並みに企業経済に関する法律上のトラブルは増えていくはずだ。今後赤羽さんの力がいかんなく発揮されていくことだろう。

●理系ならではの「弁護士」

その弁護士になるまでの過程も「赤羽流」である。大学時代からバイトしていた予備校に、卒業後、「今でいうニートのように」そのまま仕事を続けていたものの、27歳で一念発起、半年の勉強期間で司法試験に一発合格されたのだ。

保健室の紹介

養護教諭 稲垣晶子

◆来室する生徒はケガが多い
海城の保健室は5、6年前から2人制となり、専任1名と非常勤2名が曜日交代(月・水・金の3日間と火・木・金・土の4日間)で勤務しています。

来室数は、1日記録に残る人数でいうと20名弱ですが、身長や体脂肪を測ったり、ただおしゃべりにきたりする生徒もたくさんいます。

ベッドは3台で生徒数に比べては少ないと思われませんが、3台とも使用することは年に何回もありません。「どうしたらベッドで寝られるの?」とよく聞かれますが、頭痛や気分不快を訴えた場合など1時間を限度に使用しています。「レポートで徹夜したので眠い」とか「塾の前夜に休ませ」というものは認めていません。卒業生から後日「よく嘘ついて寝かせてもらった」などと聞かされたりすると、「知っていたけれど騙されたふりをしていた」と答えることにしています。

高校3年になると体育で日頃の運動不足とストレスを解消するため、がむしやに体を動かかし、ケガをする人がグンと増えます。2学期も後半になると受験に影響がでしてしまうのではないかと毎年ハラハラしています。体を動かすことは良いことです。自分の力量を考えて行動してほしいと思います。

また、時折どうやったらこんなケガをするの? という生徒もいます。中学受験の影響で運動不足になっているのか、または運動の苦手な生徒が多いのか

◆海城生気質?
保健室は、学校に居場所のない生徒の逃げ場であり憩いの場であると思われており、海城の保健室もその役目を果たしている部分もあります。しかし最近

：中学、高校の時期は休み時間のボール遊びだけでなく、しっかりと体を動かして体を作っていくって欲しいと思います。

委員会・クラブ活動だより ②1

アメフト部

関東大会を目指して日々邁進!

日本ではあまり知られていないアメリカンフットボール。というところで、今回は皆様にアメリカンフットボール(以下アメフト)を知ってもらうことを兼ねて海城アメフト部の紹介をしたいと思っています。

アメフトを漢字でどう書くのかわかりますか? 正解は「鎧球」です。なぜこう書くのかという、字の通り鎧を身にまとっ

て、褒める時も叱る時も十分に気をつけていかなければならないと思います。

◆保健室も教育の場

保健室は生徒を甘やかしている、と他の先生からは見られていないのではないかと思います。実際に、甘くもあり厳しくもあります。保健室も教育の場であるので、しっかり指導しなければならぬと思います。厳しくしていた時もありました。しかし、それでは良い関係が作れるとは思えずに考え直しました。現在は、保健室内での基本的なルールが守られていれば良いことにしています。なかには甘え上手な生徒もいるため、基準が甘くなってしまう、反省の毎日です。私たちとしては、甘え上手になってうまく保健室を利用して欲しいと思っています。

広く明るい保健室

校門正面の校舎1階左奥に保健室はある。女性が管理する清潔な部屋は、男子校生のオアシスになっているのかもしれない。

(片山忠美)

でプレーをするためです。アメフトではプレーをする際に、ヘルメット、ショルダーパッド、その他様々なパッド類を身につけなければなりません。これは、プレーヤーの命を守るためであって、パッドの装着をおこたると死にもつながります。だから、パッド類の鎧を身にまとってプレーをするのです。

アメフトは、基本的にはラグビーと同じ陣取り合戦です。しかし、ラグビーとは大幅に異なります。オフエンス、ディフェンス各11名でプレーされます。オフエンスはランプレー、パスプレーの両方を駆使して、相手陣の一番奥のエンドゾーンを目指します。ディフェンスは、そのオフエンスを破壊して陣地を守るのが仕事です。

前述のとおり、アメフトはハードなスポーツです。そのため私達海城アメリカンフットボール部ドルフィンズは、グランド練習が週6時間という他校とくらべると厳しい条件下でも、筋トレ、基礎トレをしっかりこなして、他校にまけないと奮闘しています。過去には都のベスト8になったこともあり、関東大会を目指して40名の部員と共に日々邁進しています。

今日を期に、皆様アメフトに少しでも興味をもつていただき、アメフトをやってみていただき、見てみたいと思っていただき、海城アメフト部に声援を送っていただければ幸いです。

編集後記

◆今回は会報本来の使命である同期会・クラス会に関する投稿が多くあり大変喜ばしくうれしく思っています。ただ申し訳ないことに一部投稿文について文章を整理させて頂いたものがあります。悪しからずご諒承ください。

(小川晴望)